

白駒コメツガ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・東信森林管理署
所在地	長野県南佐久郡小海町
面積	183.34ha
設定年	平成5年4月1日（平成29年4月1日 変更）
保護林の概要 （設定目的）	八ヶ岳地域において最も林齢の高い林分で、コメツガを主体とし、シラビソ、オオシラビソ等が混交している。壘石地帯に成林し、下層に蘚苔類が発達しているなど、コメツガ林特有の形態を呈しており、学術的に重要であるため、コメツガの個体群の保護・管理を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（毎木調査・植生調査）を2プロットで実施し、過年度の調査結果と比較した。
結果概要	コメツガ群落は非常に安定しており、大きな変化は確認されなかった。ニホンジカによる植生被害は亜高山帯針葉樹林では軽微であったが、白駒湿原では植生被害が確認された。 平成27年度保護林モニタリング調査では、近隣の八ヶ岳縞枯山希少個体群保護林において深刻なニホンジカによる植生被害が確認されていることから注意が必要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。